



保育理念

- 1、乳幼児期の子ども用最善の利益を守る
保育園
- 2、地域の多様な子育ての要求を受け止め
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、す
べてのものの生命を大切に、平和な社
会をめざす保育園

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、
一人ひとりの発達を援
助する
- 2、保護者と子育てを協同
する
- 3、保育園の社会的役割を
果たす

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現
し実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切に
する子ども

ある日のエピソード

二才児クラスにお手伝いに入った時のこと。食後は、コットで寝る時間ですが、棚の上に座ったまま動かなくなってしまう子がいました。しばらく時間をおいてから誘いましたが、「やだ！」と言って動きませんでした。「じゃ、30数えたらお布団に行こうか」と言うと、「やだ、100かぞえたら」というので、一から数えました。本当に行けるかなーと、思いながらも90くらいまで数えると、すこしずつ、棚から降りる準備をして、「100！」といったとたん、スタスタとコットに向かい、何事もなかったように布団に横になりました。

「子どもは自分で決めたことは守ろうとする」ことは、よく言われていますが、子どもの力を信じることの大切さを感じたエピソードでした。

11月5日に4、5才児の「親子で遊ぼう会」が開催されました。かけっこやリレー、親子競技などで盛り上がり、5才児はソーラン節の踊りや縄跳びを披露しました。今年の5才児はみんな縄跳びが好きで楽しみながらどんどん上達して、自分の得意な技をぜひ保護者の方に見てもらいたいということで縄跳びを選びました。また、ソーラン節の練習を始めた頃はなかなかまとまらなかったのですが、回を重ねるごとに上手になり、子どもたちの中での絆が強くなっていくことも感じられました。当日は、初めての会場で緊張してしまうのではないかと大人の心配を全く感じさせないくらい、しっかりと集中して取り組んでいる姿にとっても感動しました。5才児の保護者の方からは、「感動で涙がでました」「昨年度の5才児みたいには出来ないのではないかと考えていたが、立派にできていてびっくりしました」等の感想があり、4才児の保護者からは、「来年はあんな姿になるのかと、今から楽しみです」という声もありました。

「やるときはやる！」ことができるのは、毎日の生活の中で信頼できる大人に丸ごと受け止められ、(ルールはある中での)やりたいことを満足するまでできることが土台になっているのではないかと、今回の遊ぼう会の子どもたちの姿を見て改めて感じました。

園長 真鍋 桂子

今月の予定

- 8日(木) 健康診断(乳児)
13日(水) 身体測定(幼児) 15日(木) 身体測定(乳児)
15日(木) 加藤先生のわらべうた
16日(金) 幼児クラス お話会 10:00~
他のクラスもカメラマンの撮影があります。

